

言語・プログラミングガイド ※ ( ) 内はファームウェア ※ 青字部分是对象のプログラミングガイド型番		自律制御							リモート制御		備考	
		C	Java	C#	Python	mruby	C (Linux版)	EV3 ソフトウェア	Labview	Windows アプリ/ Kinect		Android アプリ
		(Toppers)	(leJOS)	(MonoBrick)	(ev3dev)	(Toppers)	(ev3sources)	(標準FW)	(Labview用FW)	(標準FW)		(標準FW)
要件	LEADEVTCP	LEADEVJP	EVGCSP01	EVGPYT01	EVGMRU01	EVGCAM01	EVGEV30001	EVGLAB0001 EVGLTE0001	EVGWINP01 EVGKIN02	EVGANDP01		
microSDHCカードの要/不要 ○…要 x…不要		○	○	○	○	○	○	x	x	x	x	PCからmicroSDHCカードへの書き込み権限が必要。(※3) MicroSDカードスロットまたはUSB型microSDカードリーダー要。 C (Linux版) ではUSB型microSDカードリーダー必須。
環境設定時のインターネット接続 ○…必須 △…インターネット接続された環境で 事前に必要なものを用意すれば不要 x…不要		△	△	△	○	△	○	△	△	△	△	環境設定に必要なファイル等を取得するため、 PCからインターネット接続が必要。
プログラムの転送方法	SDカードへコピー	○	x	x	x	○	x	/	/	/	/	PCからmicroSDHCカードへの書き込み権限が必要。
	USB	○(※4)	○(※1)	○(※1)	○	x	x	○	○	/	/	PCのUSBポートから外部デバイス (EV3) へのアクセスが必要。 C (Toppers) では、外部メディア (microSDHCカード) へのアクセスが必要。
	Bluetooth	○	○	△(※5)	x	○	x	○	x	/	/	PCから外部デバイス (EV3) へのBluetooth接続が必要。 PCによってはBluetooth dongle要 (※2)。
	Wifi	x	○	○	○	x	○	○	x	/	/	PCから外部デバイス (EV3) へのWifi接続が必要。 EV3にはWifi dongle要 (※2)。WifiはDHCP機能要。
	有線LAN	x	x	x	○	x	○	x	x	/	/	PCから外部デバイス (EV3) への接続が必要。 EV3にはLANアダプタ要 (※2)。有線LANはDHCP機能要。
プログラムの実行方法	EV3のメニューから	○	○	○	-	△(※6)	-	○	○	/	/	
	転送して実行	○	○	○	-	○	-	○	○	/	/	プログラムを転送した後、自動的に実行。
	PCから実行 (ネットワーク接続要)	-	-	-	○	-	○	-	-	/	/	PCからEV3へネットワーク接続し、EV3のプログラムを実行。
	リモート制御 (Bluetooth)	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	PC及びタブレットから外部デバイス (EV3) へのBluetooth接続が必要。 Androidアプリでは、PCのUSBポートからタブレットへのアクセスが必要。

※1…Windows10では別途ドライバーのダウンロードと更新が必要です (詳しくはこちらをご覧ください。 <http://afrel.co.jp/archives/25877>)

※2…利用可能なBluetooth dongle・wifi dongle・LANアダプタは限定されます

※3…事前にmicroSDHC内に必要なファイルを用意する場合、開発用PCではmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要な場合があります

C (Toppers) の場合…microSDHCカードに必要なファイルを用意済みで、プログラムの転送をBluetooth通信で行う場合は、開発用PCでmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要

Java (leJOS) の場合…microSDHCカードに必要なファイルを用意済みであれば、開発用PCでmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要

C# (MonoBrick) の場合…microSDHCカードに必要なファイルを用意済みであれば、開発用PCでmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要

Python (ev3dev) の場合…microSDHCカードに必要なファイルを用意済みであれば、開発用PCでmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要

C (Linux版) の場合…microSDHCカードに必要なファイルを用意済みであれば、開発用PCでmicroSDHCカードへの書き込み権限は不要

※4…EV3RTパッケージバージョン6-1以降でUSBケーブルによるプログラムの書き込みが可能です

※5…インテリジェントブロックEV3によって接続不可 (詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.afrel.co.jp/archives/20923>)

※6…microSDHCカードに保存できるプログラムは1つだけです

(2017/07/24現在)